

道徳科学習指導案

令和 年 月 日
授業者 都内公立中学校
主任教諭 戸上 理子

1 主題名 「生命の尊さ」 (内容項目 D 生命の尊さ)

2 ねらいと教材

- (1) ねらい 臓器提供という現代的な課題を通して、生命の尊さを理解し、自他の生命をかけがえないものとして尊重しようとする道徳的判断力を育てる。
- (2) 教材名 「臓器ドナー」 (出典：中学道徳 あすを生きる 3 日本文教出版)

3 主題設定の理由

本主題は、中学校学習指導要領（平成 29 年告示）の次の内容を受けて設定した。

特別の教科 道徳 第 2 内容 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること 〔生命の尊さ〕 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえない生命を尊重すること。
--

(1) ねらいとする価値について

「生命」とは多様な側面をもっており、生命にいつか終わりがあり、その消滅は不可逆的で取り返しがつかないという「有限性」、生命はずっとつながっているとともに関わり合っているという「連続性」や自然界における他の生命との関係性、自分が今ここにいることの不思議「偶然性」など、様々な側面をもつ。

生命を尊ぶことは、かけがえない生命をいとおしみ、自らもまた多くの生命によって生かされていることに素直に答えようとする心の現れと言える。生命を尊ぶことは、どのような価値よりも優先されなければならない。人間の生命には生物的・身体的生命とは別に、その関係性や精神性においての社会的・文化的生命といった側面もある。それらも含め、生命がかけがえないものであることが認識され、決して軽々しく扱われてはならないという態度が育まれるのである。

生命を尊ぶために、まずは自己の生命の尊厳、尊さを深く考えさせることで自己以外の生命の尊さへの理解につなげていくことが重要である。臓器提供という現代的な課題を通して、生命の尊さを理解し、自他の生命をかけがえないものとして尊重しようとする道徳的判断力を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について（省略）

(3) 教材について

ア 教材の概要

本教材は、臓器提供や臓器提供意思表示カードを通して、生命の尊さや価値観を深く考えさせるものである。自分の大切な人が脳死になってしまったら、自分はどのような判断をするのか、答えが一つに定まらない問いを自分の価値観に照らし合わせて考えていくことになる。自分自身と向き合い、仲間の考えを受け入れる中で、判断に迷い、悩みながらも生命の尊さについて考えさせたい。

イ 教材の活用

臓器提供で多くの命が助かることは理解しながらも、本人の意思と残された家族の意思との間で生じる葛藤を通して、生徒が「生と死」に向き合うきっかけをつくる。本教材を用い、自我関与を中心とした学習を行うことで、生徒は、生命の連続性（引き継がれ、生き続ける命）や生命の有限性（限りある命をいかに大切に思うか）について考えるだろう。本教材は、臓器提供の是非を問うものではなく、臓器提供という答えが一つに定まらない課題に対して、多様な感じ方、

考え方があることを理解させる。さらに、話し合いの中で、生徒が多様な感じ方・考え方に触れ、生命の尊さについて更に理解を深めた上で、自分の生き方に照らし合わせて考えられるよう、本教材を活用する。

4 本時の指導

(1) 学習指導過程

時間	学習活動 (主な発問 (○) と予想される生徒の反応 (・))	指導上の留意点 (・)、 I C T活用 (★)、評価 (◇)
導入 5分	<p>1 臓器提供について知る (待機患者数、提供可能な臓器、移植手術の成功率の高さ、家族の葛藤等)。</p> <p>【資料】人体模型、臓器提供意思表示カード等</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;">「生命」について考えよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板を用いて関連する教科の既習事項を確認する (★)。 関連教科：理科、社会科、保健体育、技術・家庭 (家庭分野) 脳死や臓器提供について説明する際には、誤解を生じさせないように、表現等に留意する。
展開 35分	<p>2 教材「臓器ドナー」を読み、共に考え、語り合う。</p> <p>○ 教材を読んで感想を伝え合う。 ペア</p> <ul style="list-style-type: none"> 臓器提供について、今まで考えたこともなかったの、初めて知ることが多かった。 臓器移植について、家族が葛藤していたところが印象的だった。 大切な家族だからこそ、体が温かいのだから、死として受け止められない。そのため、臓器を提供する決断はできないと思う。 本人が臓器提供を望んだとしても、残された家族は、本人の意思を尊重できるのか。 臓器提供で、助かる命もあること、日本は待機患者数も多いことは驚いた。 <p>◎ 「あなたは臓器提供を希望するか、それとしないか。理由も併せて考えよう。」 (中心的な発問) 個人→小グループ→全体</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望しない：まだ体が温かいのに、「死」として受け入れることはできない。 希望しない：自分の命 (臓器) は最期まで自分のもので終わりたい。 どちらでもない：自分が臓器提供することで救われる命はあるのは理解できる。でも、脳死の状況を想像できないので、今は決められない。 どちらでもない：その時になってみないと、決められない。 希望する：自分の臓器で救われる命があるなら、少しでも役に立ちたい。 希望する：生前に家族にはきちんと自分の意思 	<ul style="list-style-type: none"> 教材の範読後に、教材文の感想を聞くことをあらかじめ伝えておく。 教材を読んで、感想をペアで交流させる。 生徒の印象に残った場面を取り上げる中で、教材のあらすじを整理し、生徒から出てきた意見やキーワードを基に、次の発問につなげ、主体的に学習に取り組めるようにする。 2つの手記を基に、臓器提供に対する考え方は多様であり、それぞれの立場で生じる葛藤について押さえる。 一人1台学習者用端末で自分の考えを入力し、全体で共有させる。(★) 3、4人の小グループで互いの意見に対し相互評価活動を行わせる。(★) 【話し合いを効果的に展開するために】 話し合いでは、次の3点に着目させ自己や他者と深く対話するよう教師が支援を行う。 ①生徒同士で考えの背景にある理由に着目させる。 ②ねらいに関わる発言に着目させる。 ③一人1台学習者用端末上で、他者参

	<p>を伝えた上で、提供をしたい。</p> <p>補助発問：「家族の臓器提供については、どう考えますか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の臓器提供については、更に悩む。 ・家族の意思を尊重したいと思うが、自分はそれを受け入れられるか分からない。 	<p>照し、自分にはなかった新しい考えに着目させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臓器提供の是非を問うのではなく、教材を通して、生命の尊さ（有限性、連続性、偶然性）について考えさせる。 ・多様な感じ方・考え方があることを理解させる。 ・どの考えも背景に「命を大切に思う気持ち」があることに気付かせる。 <p>◇評価(2)ア（発言、話合いの様子、記述内容など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の「生命」について考えさせる中で、家族（他）の生命も、自分の生命と同じくらい尊いことに気付かせる。 <p>◇評価(2)ア（発言、記述内容など）</p>
終 末 10 分	<p>3 教師の説話を聞き、本時の学習を振り返る。教師の母の「死」、子供の「生」を経験した話を聞く。</p> <p>4 本時の学習を振り返り、「生命」について考えたことや気付いたことを「自分の生き方」に照らし合わせて書き、発表する。</p> <p style="text-align: center;">個人→全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の有限性、連続性、偶然性に関する話を聞き、ねらいとする道徳的価値への理解を深める。 ・本時の学習を振り返り、考えたことや気付いたことを発表させる。 ・生徒に事前に了承を得た上で、発表させる。 <p>◇評価(2)イ（発言、記述内容など）</p>

(2) 評価の視点


ア 臓器提供という現代的な課題を通して、生命の尊さを理解し、自他の生命について、多面的・多角的に考えようとしていたか。

イ 臓器提供という現代的な課題を通して、生命の尊さを理解し、自他の生命を尊重することについて、自分自身の問題として自らの生き方に生かそうとしていたか。

(3) ICTを活用した相互評価活動

中心的な発問では多様な感じ方・考え方に触れ、生徒が自分自身の考えを深められるようにするため、共同編集機能を用いた相互評価活動を取り入れる。相互評価活動では、課題（中心的な発問）に対する他者の考えについて、①共感、②疑問、③新たな気付き、④興味・関心をもった、⑤その他といった視点を基にコメントさせる。生徒同士が互いの考えに意見する相互評価活動を取り入れることで、話合いを効果的に展開させる（対話を重視する）。

5 板書計画について

臓器ドナー	◎あなたは、臓器提供を希望するか、それとも希望しないか。（理由も含め）
<div data-bbox="261 282 395 376">臓器提供 意思表示 カード</div> <div data-bbox="432 297 740 358">(臓器提供意思表示カード の説明を書く)</div> <div data-bbox="237 414 767 566"><div data-bbox="261 427 408 553">娘の 臓器提供に 対する 母親の考え</div><div data-bbox="432 443 549 595"></div><div data-bbox="571 427 740 553">医師・夫の 立場からの 臓器提供に 対する考え</div></div> <div data-bbox="225 607 735 815"><ul style="list-style-type: none">・大切な家族だから「死」を受け入れられない・大切な家族だから、本人の意思を尊重したい。・臓器移植で助かる命がある。・臓器移植で命がつながることは理解はできる。しかし、大切な家族だから冷静に判断できない。</div>	<div data-bbox="821 320 1016 400">希望する</div> <div data-bbox="871 412 932 441">理由</div> <div data-bbox="1027 320 1222 400">どちらでもない</div> <div data-bbox="1078 412 1144 441">理由</div> <div data-bbox="1240 320 1434 400">希望しない</div> <div data-bbox="1303 412 1369 441">理由</div> <div data-bbox="821 618 1417 714"><p>【本時の振り返り】 ○「生命」について、感じたことや考えたことを書いてみよう。</p></div> <div data-bbox="815 734 1441 891"></div>